

出力ファイル／オブジェクトの作成

TNTmipsには、入力と出力の2つのオブジェクト選択があります。入力オブジェクトの選択手順については、テクニカルガイド「システム：使用するオブジェクトの選択 (System: Select Objects for Use)」をご覧ください。

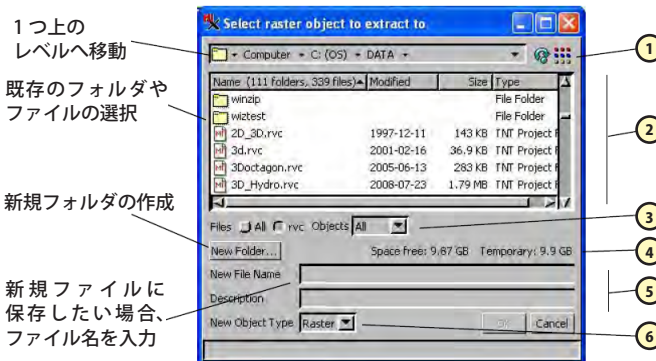
TNT 処理では、1つまたは複数のオブジェクトをプロジェクトファイルの中や外部フォーマットのファイルに出力できます。出力オブジェクトの作成手順は一般的に、

- 必要なら新規フォルダを作成
- ファイルを選択 (新規ファイルまたは既存ファイル)
- ファイル／オブジェクトに説明を追加
- デフォルトの名前を使うか、オブジェクト名を付ける
- 処理を開始

出力オブジェクトが1つの場合

単一の出力オブジェクトに対して名前を付けたり処理を開始するには、出力するファイルがデフォルトで選択されていれば、マウスを1度クリックするだけです。デフォルトで名前が設定されていない場合は名前を入力し、[OK] ボタンか [Enter] キーを押します。

- [OK] を押すと、ウィンドウ内の設定に拘らずその名前前で確定し、処理を開始します。
- [Enter] を押すと、名前や説明フィールドにフォーカスがあればその名前前で確定し、処理を開始します。



ファイル選択後、名前および説明フィールドは出力オブジェクトに対するものになります。

- ① ナビゲートバー、リフレッシュボタン、表示ボタン (詳細 / 一覧)
- ② ナビゲートバーに表示されたディレクトリレベルのスクロールリスト
- ③ 上の一覧に適用するファイルやオブジェクトの種類を設定するフィルタ
- ④ 新規フォルダの作成ボタン、ドライブの空きスペースと一時スペース
- ⑤ ファイルとオブジェクト名、説明
- ⑥ 選択したオブジェクトの種類

出力オブジェクトが複数の場合

複数の出力オブジェクトを作成するには各オブジェクトに名前を付けるなどの手順を踏まなければいけません。希望する出力ファイルがデフォルトで選択される場合はマウスを1度クリックするだけです。

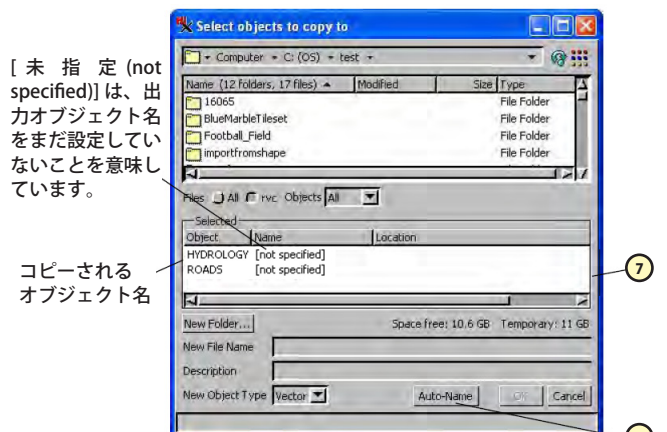
- [OK] を押すと、フォーカスの有無に関わらず現在入力されている名前前で確定され、一覧の次のオブジェクト名を入力する操作に移ります。全てに名前が付けられたら、[OK] を押して処理を開始します。

- [Enter] を押すと、名前や説明フィールドにフォーカスがあれば現在入力されている名前前で確定され、一覧の次のオブジェクト名を入力する操作に移ります。全ての名前の入力が終わっても処理は開始されません。
- [名前]の自動割り振り (Auto-Name) 機能を使うと、入力オブジェクトと同じ名前が付けられ、[OK] で処理が開始します。

単一の出力オブジェクトの場合に表示されるウィンドウ項目は、複数出力オブジェクトの際も同様に表示されますが、後者の場合はさらにいくつか項目が追加されます。

出力オブジェクトの一覧には、入力オブジェクト名や割り当て後の出力オブジェクト名、出力オブジェクトのパスが表示されます。出力オブジェクト名を変更するには、名前を手入力したものでも自動割り振りしたものでも、名前の列で右クリックし、[リセット (Reset)] を選びます。[リセット] を選ぶと、オブジェクト名とファイル名を変更できます。出力オブジェクト名を変更し、パスはそのままにしたい場合は、一覧でそのオブジェクトを反転表示し、新しい名前を入力します。

ラスタの抜き出し処理では、ファイル選択前に [名前]の自動割り振り] 機能を使用した場合、各入力オブジェクトは別々の新規プロジェクトファイル (ファイル名はオブジェクト名と同じ) にコピーされます。 <質問 (Question) > ウィンドウが開き、その操作で間違いないか確認されます。 [OK] をクリックすると処理が開始されます。



[未指定 (not specified)] は、出力オブジェクト名をまだ設定していないことを意味しています。

コピーされるオブジェクト名

- ⑦ 出力オブジェクトの一覧 (入力オブジェクト名が使われる)
- ⑧ 入力オブジェクト名に基づいて出力オブジェクト名を自動的に割り振ります

ファイルとオブジェクトのフィルタ

ファイルとオブジェクト種類を設定するフィルタ (図中③および下図) には、以前に選択したファイルや現在選択しているオブジェクトの種類に応じて様々な形式が表示されます。

